



2026年4月22日

各 位

令和アカウンティング・ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 繁野 径子
 (コード番号：296A 東証グロース)
 問合せ先 常務執行役員業務管理部長 田口 英亮
 TEL. 03-3231-1935

期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2026年4月22日開催の取締役会において、以下のとおり、2026年3月31日を基準日とする期末配当予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 配当予想の修正内容（増配）

	1株当たり年間配当金（円）		
	中間	期 末	合 計
前 回 予 想 (2026年3月18日公表)	—	19円50銭 (普通配当 19円50銭)	32円00銭 (普通配当 32円00銭)
今 回 修 正 予 想	—	20円00銭 (普通配当 20円00銭)	32円50銭 (普通配当 32円50銭)
当 期 実 績	12円50銭 (普通配当 12円50銭)	—	—
前 期 実 績 (2025年3月期)	—	24円50銭 (普通配当 22円00銭) (記念配当 2円50銭)	24円50銭 (普通配当 22円00銭) (記念配当 2円50銭)

(参考) 配当予想修正に伴い算定したその他指標の当期見込みと前期実績

	2025年3月期 (実 績)	2026年3月期 (予 想)	増 減	
			増	減
D 0 E	33.9%	42.6%		8.7%

2. 配当予想の修正理由

当社は、株主還元を重要な経営課題と認識するとともに、エネルギー価格、為替、関税、あるいは景気、不景気などの外部環境の変動にほとんど影響を受けず業績が安定していることを背景として、普通配当について每期継続して安定的に実施していく方針です。

単体配当性向 80%を基本として、財政状態等を勘案し配当性向を每期1%から 10%の範囲で株主優待に代わるものとして上乘せすることにより、每期単体配当性向81%から90%とすることを基本方針としております。

2026年3月31日を基準日とする当期の期末配当につきましては、上記方針のもと、基本分80%に株主優待分5%を加えた単体配当性向85%を目安として、確定した第4四半期の最終利益が前回予想を上回って着地したことを勘案し、前回2026年3月18日公表予想の1株あたり19円50銭から20円00銭へ増額することといたしました。それに伴い、年間配当合計は32円00銭から32円50銭へ増額修正となります。

※配当性向の上乗せ分は、株主優待は利益の分配ではなく経費処理することに対する疑問に加え、配当であれば完全に株式数に連動することとなるため、株主の皆様には配当金をもって公平にその恩に応えることができると考え、決定しているものであります。

以上